

総合福祉センターも お正月のしつらえに！ 2018

古くから、その年の年神様を迎え祀るために飾る正月飾り。実り多い新年を願う意味もあるけれど、ひとつ飾るだけでその空間が、一気に正月モードに華やぐのもまた魅力です。伝統的な稚松の生け花や総合福祉センターの講座や利用者の手で作られたモダンなお正月飾りをお楽しみ下さい。



稲穂飾りは、新しく始まる年も沢山の食物を手にして人々の命が支えられるような、**実りの多い年になりますように**との願いが込められています。食卓も・祝鶴・祝箸・箸置き・楊枝入れなど手作り作品でよりお正月らしさを演出できますね。

「七五三の若松」(しめのわかまつ)
七・五・三は、2つに割れない数として**和の精神を表す**とされ、お祝いにふさわしいと考えられています。
七は水引を7把用いるので七。五は、松の翠が5本生じるので五。三は、生け方が「三才格」といって3つのラインを基本としているので三です。

・ 凧・飾り羽子板・懐かしい遊び道具や
・ 花てまり・組みひも飾り・戌の木目込み
・ ビーズ飾りなど手作りの小物も、古き良き時代のお正月気分を盛り上げてくれますね。

和の花材の「葉ボタン」が、まるで「バラ」のようにエレガントな、お正月仕立てのハンギングバスケット！新しい春を感じますね。